

※初めに使用する地域の、設計水平震度をご確認下さい。

ザ・ウォール協議会 全国ネットワーク



中地震・大地震の区分 「宅地防災マニュアルの解説」より引用

●中地震（中規模地震動）

標準設計水平震度 $k_0=0.20$

供用期間中に1～2度程度発生する確率を持つ一般的な地震動です。
一般に震度5程度の地震を想定しています。

●大地震（大規模地震動）

標準設計水平震度 $k_0=0.25$

発生確率は低いが直下またはプレート境界で発生する地震を想定した高レベルの地震動です。一般に震度6～7程度を想定しています。

●設計水平震度

標準設計水平震度 $k_0=0.25$ に地域別補正係数Zを乗じて求めます。

地域別補正係数は、
建築基準法施行令第88条1項に規定するZの値

標準設計 水平震度	地域別 補正係数Z	設計 水平震度kh	ザ・ウォールⅡ (大地震対応型) 適用範囲
$k_0=0.25$	1.2※	0.300	—
	1.0	0.250	0.250
	0.9	0.225	0.225
	0.8	0.200	0.200
	0.7	0.175	0.200

※静岡県の地震地域別補正係数は、建設省告示では1.0ですが、
静岡県建築構造設計指針による静岡県地震地域係数によって
1.2と定められています。